



Books
for Everyone



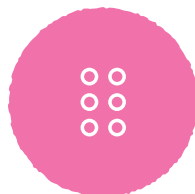
読書



バリアフリー

見つけよう!

自分にあった
読書のカタチ



国土社

読者のみなさんへ

この本では、「読書バリアフリー」というテーマを扱っています。

あまり聞きなじみがないことかもしれませんが、さまざまな立場の人が自分にあった手段を使って、楽しく本を読んだり、情報を得たりするためにくふうされた本（「バリアフリー図書」と呼ばれています）について紹介しています。

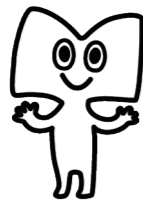
また、「私の読書スタイル」というページでは、視覚障害などさまざまな障害や、外国にルーツのある人など、9人にインタビューをしています。自分には不便を感じないことも、ある立場の人にとっては不便になっていることがあります。でも、その不便を快適に変えるために、実際どんな方法を使っているのか、また、その人はどんなサポートを求めているのかについて、語っていただきました。

2019年に「読書バリアフリー法」という法律ができてから、学校や図書館においても、「読みやすさ」「わかりやすさ」をどのように実現できるだろうかという模索がはじまりました。近年、図書館に「バリアフリー図書」を集めたコーナーが増えてきているのは、そうした背景があります。図書館が「バリアフリー図書」を積極的に蔵書・展示することによって、「バリアフリー図書」の出版点数も増えていくことでしょう。

また、学校では、児童・生徒に一人1台のタブレット端末が配布され、デジタル図書やオーディオブック、音声教材などが身近なものになってきました。近い将来、デジタル教科書も各教科ごとに製作されるようになり、紙の本では実現するのがむずかしい「自分にあった読み方」を選択する機能が盛り込まれることが期待されています。

この本で扱っている「読書バリアフリー」という観点を通して、自分にあった読書のカタチを選ぶことは、国連の条約や、日本の法律でも認めている「合理的配慮」の一つであることを知るとともに、けっして「他人事」ではなく、「自分事」であるということに気づききっかけになれば、うれしく思います。

この本に出てくるキャラクター



ブック



プロフェッサー



じゅん

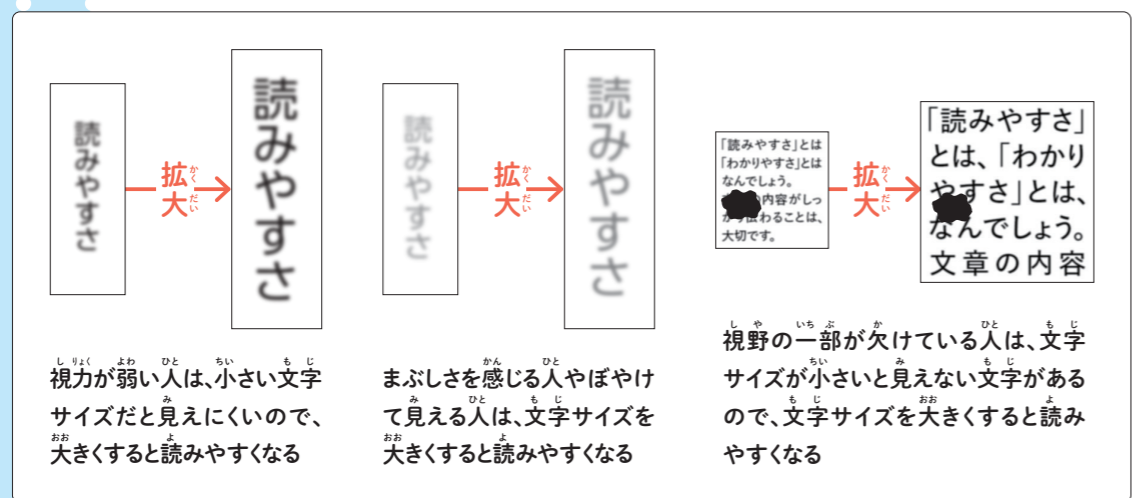
もくじ

読者のみなさんへ	2
「読みやすさ」について考えてみよう	4
「読みやすさ」を考えるとときに参考になるポイントを見てみよう	6
「わかりやすさ」について考えてみよう	8
「わかりやすさ」を考えるとときに参考になるポイントを見てみよう	10
自分にとっての「読みやすさ」「わかりやすさ」を見つけてよう!	12
「読みやすさ」「わかりやすさ」を考えるとうえで大切な3つのチカラ	13
「読みやすさ」をつくるいろいろな道具を見てみよう	14
「バリアフリー図書」って知っていますか?	16
CASE 1 点字つきさわる絵本	17
CASE 2 布の絵本	25
CASE 3 大きな文字の本	31
CASE 4 わかりやすい本(LLブック)	39
CASE 5 オーディオブック	45
CASE 6 マンガ	53
CASE 7 デジタル図書(電子書籍)	59
CASE 8 さまざまな言語の本・さまざまな言語による情報	67
メディアミックスから自分に合った読書のカタチを見つけよう!	72
紙の読書とデジタル読書、それぞれのメリットは?	74
読書バリアフリー法と著作権法	76
私の読書スタイル	
全盲 ■ 永盛楓人さん	23
全盲ろう ■ 森 敦史さん	24
知的障害 ■ 小池美希さん	30
ロービジョン ■ 山本紗未さん	37
外国ルーツ ■ デニッセ・モレノさん	38
肢体不自由 ■ 見形信子さん	51
難病 ■ 頭木弘樹さん	52
ディスレクシア ■ 小澤彩果さん	66
聴覚障害(ろう) ■ 伊藤芳浩さん	71
読書バリアフリーを考えるとための参考図書	78
索引	79

「読みやすさ」を考えるときに 参考になるポイントを見てみよう

1 文字サイズ

読者の視力や視野、見え方などによって、読みやすいと感じる文字のサイズは、一人ひとり異なります。



参考：中野泰志・小田浩一・中野喜美子(1993) 弱視児の見えにくさを考慮した読書環境の整備について

2 文字間・行間

文字と文字の間（文字間）、行と行の間（行間）が空いていたり狭かったりすることも、読みやすさに関係します。

文字の間が
つまっている
行の間が
つまっている

そののてっぺんなんかつめたくてつめたくてまるでカチカチのやきをかけた鋼です。そして星がいっぱいです。けれども東の空はもうやさしいききょうの花びらのようにあやしい底光りをはじめました。

文字の間が
空いている
行の間が
空いている

そののてっぺんなんかつめたくてつめたくてまるでカチカチのやきをかけた鋼です。そして星がいっぱいです。けれども東の空はもうやさしいききょうの花びらのようにあやしい底光りをはじめました。

3 縦組み・横組み

文字の流れる方向が縦か横かも、読みやすさに関係しています。

縦組み
そののてっぺんなんかつめたくてつめたくてまるでカチカチのやきをかけた鋼です。そして星がいっぱいです。けれども東の空はもうやさしいききょうの花びらのようにあやしい底光りをはじめました。

横組み
そののてっぺんなんかつめたくてつめたくてまるでカチカチのやきをかけた鋼です。そして星がいっぱいです。けれども東の空はもうやさしいききょうの花びらのようにあやしい底光りをはじめました。

文字を追う
目の動きが
縦のほうがいい人、
横のほうがいい人が
いるんだね。



4 書体（フォント）

印刷されている文字の書体によっても、読みやすさは変わってきます。

書体の種類のほかに、
文字の太い・細いも
読みやすさに
関係しています。



明朝体	読みやすさ	細い	読みやすさ
ゴシック体	読みやすさ	太い	読みやすさ
教科書体	読みやすさ		

5 配色

文字の色と背景の色の組み合わせによっても、読みやすさは変わってきます。

読みやすい	読みやすい	読みやすい
読みにくい	読みにくい	読みにくい

「バリアフリー図書」って知っていますか？

全国の公共図書館に最近、こんな棚が増えてきました。

「バリアフリー図書の棚」にはどんな本が並んでいるのかな？



読書のバリアフリーコーナー(愛知県図書館)



りんごの棚(東京都豊島区立巣鴨図書館)



「りんごの棚」という名前を使っている図書館もあります。

コラム

りんごの棚

1990年代初め、スウェーデンの図書館員たちがイギリスへ研修旅行に行った際、ロンドンの「障害児図書館」の活動に刺激を受けました。それは子どもたち個々の障害に注目するのではなく、能力に注目することを方針にしていました。帰国後の1992年、最初は「りんご図書館」をつくりました。その時、一人の芸術家が、子どもたちが遊ぶ家として使える、特大のりんごのオブジェを制作しました。その後、特定の場所に専用の「図書館」をつくるのではなく、どの図書館でも取り入れられるようにということで、「りんごの棚」をつくることにしました。



りんごのオブジェ



りんごの棚のマーク

「読みやすさ」や「わかりやすさ」を必要とする読者の特性やニーズを意識した本のことを、「バリアフリー図書」といいます。これから、さまざまなタイプの「バリアフリー図書」を見ていきましょう。

CASE 1

点字つき さわる絵本

わあーい、『ぐりとぐら』だ！



よく見ると、表紙に点字がついているのがわかるかな？



点字だけでなく、絵も盛り上がっているね。



点字は、いまから200年ほど前にフランスで考えられた6つの凸点(浮き出した点)で文字をあらわすしくみです。最初はアルファベットだけでしたが、1890年(明治23年)には日本の五十音にも対応するしくみを日本人が考えました。点字を応用して、点図(触図)をつくる技術も生まれました。「点字つきさわる絵本」は、絵本の文章だけでなく、絵もさわってわかるようにくふうされています。



さまざまな点字つきさわる絵本



私の読書スタイル

小池美希さん (知的障害)

小池さんは、以前、知的障害のある当事者の立場から、「ステージ」という名前でのわかりやすい新聞の編集委員をされていました。



←ふだんからスマートフォンをよく使っている小池さん

本を読むのは好きですか？

小池 あんまり好きではありません。文字が多いのと、絵がほとんど入っていないので、わかりにくいのが理由です。でも、絵のある本や写真のある本は、見えます。たとえば、自分で料理をする時に、料理の本で調べることがあります。

子どものころは、どんなメディアに接していましたか？

小池 ふだんはよくテレビを見ていました。たとえば、「サザエさん」とか「ドラえもん」もアニメで見えていました。アイドル雑誌の写真を見るのは楽しみでしたが、好きなアイドルについて書かれている記事(文字)は読まなかったです。マンガはよく見てました。4コママンガだと、そんなにたくさん文字もなくて、読む順番もわかりやすかったです。いまはマンガは読んでいません。

小池さんにとって、読みやすい本って、どんな本ですか？

小池 文字が大きいのと、漢字にふりがなが

ふってある本です。あとは、写真がたくさん載っていることですね。

本にQRコードがついていて、スマホのカメラで撮影すると、自然と声が出てきて読んでもくれるような本があるといいなと思っています。オーディオブックだと、いまどこを読んでいるかわからなくなるけど、本を開きながら、声が出て読んでもくれると、わかりやすいんじゃないかと思います。本のページを開きながら、自分のペースで読めたほうがわかりやすいと思います。そんな本があったら、私も本を買って読むかもしれません。

お料理の本を読んでも、野菜の切り方がたくさん出てきますよね。三角に切るとか、細かく切るとか、みじん切りにしてとか。その説明の写真と文章を読んでもくれる声が出てくると、だいたいこの長さで切ればいいんだというのがわかりやすいかなと思います。そういう本があると、他の障害のある人にも便利かもしれませんね。

小池さんはスマホをよく使いますか？

小池 私はよく使うほうです。天気予報とか、電車の乗り換えなどで使っています。最近は、スマホの無料の料理レシピのアプリ「クラシル」を使っています。「今日は、なに食べたいかな」という時に作り方を見たりします。調味料のおしょうゆをどのくらい入れたらいいのかとか、わかりやすいですよ。スマホは調べたい情報を検索したり、レシピを順番に見ることができるので、とてもわかりやすいです。

小池さんは図書館には行きますか？

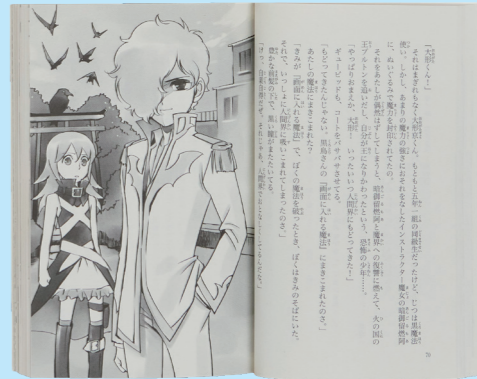
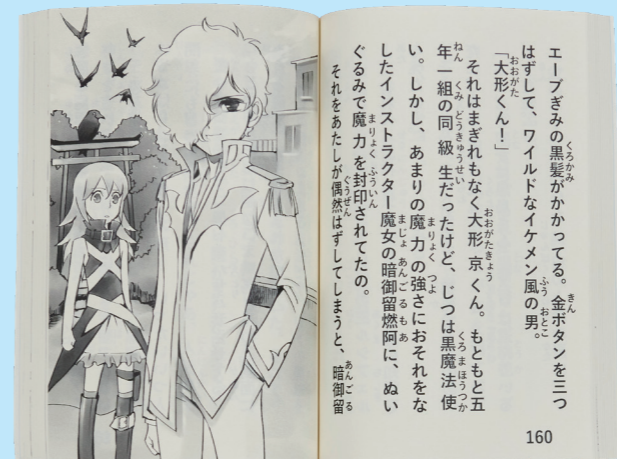
小池 私は利用していません。地域によって、図書館にカフェがあったり、自由に話ができるスペースがあるようなので、そういう図書館だったら、行ってみたいです。

大きな文字の本

あれっ!
『黒魔女さんが通る!!』
大きさがちがう本が
並んでいるね。



棚から出して、
中を開いてみて。



『黒魔女さんが通る!!』左：大きな文字版、右：通常版

大きな文字の本は、もともとアメリカやヨーロッパで「LargePrint Book」という名前でも古くから出版されてきました。日本でも小説やエッセイを中心に「大きな文字の本」が出版されるようになりました。

